

卒業生が“城東LIFE”を語る……



城東は頑張る人を応援してくれる場所

東京大学・文科三類 岡 実莉
(岡山市立吉備中学校出身)

城東高校では、生徒一人ひとりが意欲的に様々な活動に取り組んでいます。そのような環境で過ごした3年間は、私にとってかけがえのない時間となりました。

私が思う城東の最大の魅力は、勉強、部活、行事の3つすべてに全力で取り組むことができるということです。この3つをやり遂げることは簡単ではありませんが、頑張ればその分、大きな達成感と充実感を得られます。城東の授業は内容が濃く、多くのものを得ることができます。受験期には、集中して勉強する友人の姿に刺激され、私も頑張ることができました。そして、城東の部活は生徒主体で運営され、活発に活動しています。部活は、協力し切磋琢磨できる仲間と出会える場です。私は吹奏楽部に所属していました。翠緑祭の中庭コンサートと定期演奏会での会場の一体感は、今でも忘れられません。さらに、城東には様々な行事があります。2年次の北海道での学類研修では、アイヌ文化の学習や留学生との交流、自然体験などの貴重な経験ができ、クラスの仲も深まりました。そして何と言っても、城東で最も盛り上がる行事が翠緑祭です。文化の部ではクラスの団結が強まり、体育の部では学年を越えて交流できます。このように、城東での高校生活はとても充実しています。

これらの様々な活動を通して、熱心に丁寧に指導して下さる先生方や、個性豊かで、助け合い高め合える多くの仲間と出会うことができました。城東は、頑張る人を応援してくれる場所です。このような最高の環境で3年間学ぶことができ良かった、と心から思います。



英語力を大きく伸ばせた異文化交流

早稲田大学・文学部 岡本 泉
(瀬戸内市立邑久中学校出身)

私は英語が好きで、城東の国際教養学類にあこがれて入学しました。国際のクラスには私と同じように英語や外国文化が好きな人が集まり、毎日明るく楽しいクラスで授業を受けることができました。

城東の国際には他では体験できないグローバルなイベントがたくさんあります。学類研修では韓国的高校を訪問して、韓国文化を直接学び、韓国の友達をつくることができました。翠緑祭ではセリフがすべて英語の英語劇を自分たちで制作し、クラスみんなで協力し完成させました。そして冬に行われたITC(英語集中合宿)では英語だけでディベートやディスカッションを行い、英語で自分の意見を伝えられるようになりました。

国際教養学類では学校生活の中でも異文化交流の機会がたくさんあります。ALTの先生の授業が多く、留学生と同じクラスで生活することができ、さらにホームステイ受け入れの体験もできます。私自身、城東ライフの中で英語に触れる機会が増えたことで、英語力を大きく伸ばすことができ、またグローバルな視野を養うことができました。

城東には勉強にも部活にも学校行事にも打ち込める素晴らしい環境があります。私はESSと放送部、翠緑祭実行委員会で活動しました。勉強と部活の両立は大変ですが、周りにいる友達もみんな一生懸命で、先生方も熱心にサポートして下さるので、大変な時でも頑張ろうと思えることができました。大学受験を乗り越え、自分を成長させることができたのは城東高校のおかげだと思います。



城東で得た絆

京都大学・薬学部・薬科学科 富岡亮太
(岡山市立富山中学校出身)

私はこの城東高校でたくさんの仲間と出会い支え合い、充実した高校生活を送ることができました。それは自由で明るい校風の城東であったからこそ送ることができた3年間だったと思います。

まず、勉強面では生徒と先生が一体となって、学年全体で成長しようという雰囲気 genuinely 好きでした。私たちの勉強意欲を向上させてくれる先生方の工夫された授業はもちろんのこと、先生方の、「質問大歓迎!」という雰囲気により、勉強面に不安なことは何一つありませんでした。城東と言えば、活発な部活動も大きな魅力のひとつです。私はバスケット部に所属していたのですが、部活で流した汗と涙はかけがえのないものになりました。先生や仲間との切磋琢磨のおかげで体力的にもメンタル的にも何段階も成長することができ、この成長が勉強などの他の分野でも確実に私の支えとなって生きています。翠緑祭などの行事では「進取・協同」の精神の下、生徒が自ら企画・運営を行い、とにかく楽しい雰囲気での成功の達成感と充実感は味わったことのないくらい最高のものとなりました。

城東で学んできたことは本当にたくさんあり、言い尽くすことはできませんが、どれをとっても一人でできたことはありません。すべて同級生や先生方との絆があったからこそできたことです。私が城東で得た最も大きなものは、この城東ファミリーとの絆だったと思います。卒業した今でも、城東ファミリーの一員として3年間過ごせて本当に良かったと思います。



高い志を持った仲間と刺激を与え合うことができる

東京藝術大学・音楽学部器楽科チェロ専攻 岡本蒼馬
(瀬戸内市立邑久中学校出身)

城東高校は生徒一人ひとりが、城東特有の自由な校風に基づいた自主自律の精神を持っており、活発で明るい雰囲気に包まれています。しかし決して自分中心に好き勝手にするのではなく、周りの生徒とともに協調しながら様々な事柄に取り組んでいくことで、充実した高校生活を送ることができます。生徒が主体となって取り組んだ中庭コンサートや翠緑祭では、各々の音楽的センスと能力が最大限に発揮されており、クラスが一丸となって突き進んでいく姿がそこにはありました。

私が選択した音楽学類では、音楽理論やソルフェージュのコア科目をはじめ、和声学、音楽史、新曲視唱、アンサンブル、その他にも多くの科目が用意されています。自分に適したカリキュラムを組み立てることができ、専門性を生かすという点においても、大変魅力的であると言えます。さらに、くらし作陽大学との高大連携プログラム、県外の音楽大学教授による公開レッスン、講演会などでは大学生さながらの経験をすることができます。

また、国内外を問わず多くの交流や演奏の機会がありました。昨年の韓国の芸術高校訪問(学類研修)および台湾・中興中学音楽科との国際交流は、世界への視野を広げるきっかけとなりました。そして3年次の秋には、東京藝術大学附属高校とのジョイントコンサートがありました。私は「メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲」をクラスメートとの共演により実現することができました。のちに岡山シンフォニーホールで再演しましたが、これ以上ない幸せな思い出となりました。

城東高校では同じ高い志を持った仲間が常にそばにあり、良い刺激を与え合うことができます。それを親身になって支え続けて下さった先生方への感謝の気持ちはこれからも色褪せることはありません。